

第3期南国市子ども・子育て支援事業計画（案）に寄せられたご意見と市の考え方

No.	該当箇所等	ご意見	回答
1	第2章 南国市のこども・子育てを取り巻く状況 3 アンケート調査結果の概要	P20 （4）子どもが病気のときの対応 病後児保育施設の利用が少ない。通っている保育施設ではない場所のため利用しづらいとの声がある。（子どもが嫌がる、手続きが大変等）	病後児保育につきましては、骨折や回復期に入り他者に感染するおそれのないお子さまを受け入れております。普段通園している保育施設では預けることができない場合のみの利用となりますので、利用が少ない傾向にあります。 なお、現在病後児保育事業を行っている施設は後免野田保育園のみであり、新たな施設で事業を実施するためには、設備整備や看護師の確保等が必要ですので、迅速に実施することは難しいのが現状です。今後の保育施設の整備の際に考えてまいります。
2		P21 （5）不定期に利用している事業 なぜ利用していないが93.6%も占めているのか、理由を探り、実施内容（場所、費用等）を検討する必要があるのではないだろうか。周知できているのか。	広報誌やパンフレット、チラシの配布等により周知は行っておりますが、なお周知の方法を検討してまいります。 また、利用する必要がない（需要がない）可能性も考えられますので、要望に応じた適切な制度運用を行ってまいります。
3		P26 （9）子育て情報の取得先 利用できるサービス（事業）をどう周知していくのか。市の広報誌をもっと活用してはどうか。	子育てに関する情報につきましては、ホームページや広報誌、利用者支援事業所や地域子育て支援センター等で発信を行っているところです。より効果的な情報発信ができるよう、令和7年度からは南国市子育てアプリ（愛称：ぐんぐん）を導入します。これは、電子版の母子手帳として活用していただくものですが、市のサービス、イベント等も発信してまいります。
4	第4章 事業計画 2 各年度における教育・保育の量の見込み及び確保方策	P67 （19）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度） 令和7年度から南国市が始めるにあたって情報がほしい。実施施設等、利用方法などを周知してほしい。	利用方法等につきましては、国の通知、施設の状況を確認しながら適宜情報提供してまいります。

5	<p>第5章 基本施策の推進</p> <p>基本目標1 安心して子どもを産み育てられるまちづくり</p>	<p>P71 病児保育事業 ”提供体制の整備に努め”とあるが、通っている保育施設内で病中・病後を過ごすことができるような体制は検討されているのか。</p>	<p>病中のお子さまをお預かりする病児保育事業の実施には、設備整備や看護師の確保等が必要であり、すべての施設で迅速に実施することは難しいのが現状です。しかしながら、需要に応じた体制を整備するよう検討してまいります。</p>
6	<p>第5章 基本施策の推進</p> <p>基本目標2 学びを支え、生きる力をはぐくむまちづくり</p>	<p>P84 公園の整備 雑草が茂っているなど、利用できないことがある。大きな子ども向けの遊具が多く、乳幼児は利用しづらい。休日は小学生が走り回っており、小さい子どもが安全にあそぶことが難しい。ゾーン分けなどが必要ではないか。</p>	<p>雑草につきましては、除草を計画的に行うようにしておりますが、昨今の猛暑の影響もあり、対応できていない公園があることは認識しております。計画を見直すなど、適切に対応してまいります。 また、遊具エリアのゾーン分けにつきましては、吾岡山文化の森公園でゾーン分けしております。乳幼児のお子さまは、最上段にある乳幼児専用の「すくすく広場」を利用していただけます。</p>
7	<p>その他</p>	<p>広島で取り決められた、男性活躍推進条例を見ていただき、南国市でも似通ったものでいいので取り入れていただきたい。家事育児の考え方や男性の取り組みを変えることで出産についても考えることができるようになると思います。</p>	<p>南国市男女共同参画推進条例の基本理念に沿って、令和4年3月に策定しました「第2次南国市男女共同参画推進計画 女性活躍推進計画」におきまして、「固定的な性別役割分担意識の解消および男性の家事・育児・介護への参画促進」を施策の一つに掲げております。この計画に基づき、今後も市民対象の講座や市内小中学校での男女共同参画推進出前教室などにより、子育て世代の男性の家事・育児への参加とワーク・ライフ・バランスの考え方の普及啓発を行ってまいります。</p>
8		<p>支援センターを利用することでオムツをもらえたり、オムツ用のゴミ袋をもらえたりする制度で子育て支援センターの利用率増加を目指すことが出来て相談等がしやすい環境づくりができるかと思えます。支援センターに行くといろいろな情報がもらえたりもすることやお母さんの息抜きになることを同じ子育てしている者としてはもっと知ってもらいたいです。</p>	<p>支援センターをご利用いただきありがとうございます。現在のところ物品を配布するなどの計画はありませんが、頂いたご意見を参考に、地域子育て支援センターの目的に沿った、より利用しやすい環境を整えてまいります。</p>
9		<p>子どもの検診後の夜ご飯作りが大変な現状があるので南国市で使えるお食事券やテイクアウト券があったら嬉しいと思います。</p>	<p>検診の待ち時間短縮等、ご負担の軽減に向けて取り組んでまいります。 また、子育て支援の施策としまして、出産・子育て応援交付金など、様々な給付金制度もございますのでご活用ください。</p>